



いつまでも住み慣れた地域で暮らしつづけるために

第5回 地域福祉活動計画はこれからの地域の道しるべ

上野山 裕士

第1回で述べたように、私の専門は地域福祉という分野で、すべての人が住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らしつづけるための方法に関心を持っています。その具体的な方法を探るひとつの手がかりに地域福祉活動計画があります。

地域福祉活動計画（以下、活動計画）とは、簡単に説明すると、いつまでも自分らしく暮らしつづけられるまちづくりのために、住民をはじめとする地域の主体に何ができるかを、地域ごとに、そして具体的に整理するもので、社会福祉法第109条において地域福祉推進の担い手と規定される市町村社会福祉協議会（以下、社協）などが中心となって策定するものです。地域福祉計画（地域福祉に関するもうひとつの計画で市町村が策定）が、地域（市町村）全体の福祉ニーズを明らかにし、その対応策を示すものである一方、活動計画は、先に述べたように、地域性、主体性、具体性、実効性などをより強調します。

私は現在、和歌山県海草郡紀美野町において活動計画策定のお手伝いをしていますが、その作業のなかで

も地域性、主体性、具体性、実効性を計画の基本理念として非常に重要視しています。具体的には、計画の策定過程において町内11地区で住民懇談会を実施し、地域に住まう方々の対話から地域課題を抽出するとともに解決についても協議しました。また計画策定後も、「住民の手で新たな小地域福祉実践を創出する」ことを目標に、社協が継続的に地域に関わることであります。

活動計画は、ある地域にとって地域が抱える課題を解決するための活動をさらに推進するためのきっかけに、またある地域にとって地域が抱える課題を解決するための活動をつくりだすきっかけとなります。その意味で、この計画は、すべての人がいつまでも暮らしつづけられる、また、暮らしつづけたいと思う地域を、住民のみなさんをはじめとする地域主体の手で作上げていくための道しるべとなるものであり、その策定意義は今後ますます高まると考えられます。

くうえのやま・ゆうじ / 和歌山大学 観光学部

特任助手 / 博士（人間科学）>

←

岸和田サテライト社会人受講生募集

↻

地域のことをもっと知りたい

詳しくは募集要項を
下記までご請求ください！

和歌山大学

大人の**教養**を身につけたい

学部開放授業受講者募集科目（教養科目） 申請期間：平成29年8月22日（火）～9月14日（木）（持参による申請は9/14のみ可）

<h4 style="text-align: center; border-bottom: 1px dotted black;">食農地域づくり入門</h4> <p style="font-size: x-small;">日本の豊かな食を支える農業・農村は危機的状況にあります。一方で、近年では、全国の農村では活性化に向けて様々な取り組みが見られます。国も「地方創生」を合言葉として、農業・農村を応援しています。</p> <p style="font-size: x-small;">この授業では、食と農の関係性の変化を把握するとともに、農業経営や都市農村交流、そして地域づくりについて現状と課題を把握し、今後の展開について検討します。（※11/11 フィールドワークを予定しています）</p> <p style="font-size: x-small;">【担当】岸上 光克・大西 敏夫・辻 和良・植田 淳子 【日時】10月7日・21日・28日、11月4日・11日・18日 (土曜：13時～17時)</p>	<h4 style="text-align: center; border-bottom: 1px dotted black;">地域課題へのむきあい方</h4> <p style="font-size: x-small;">現在、地域社会においては、課題が山積しています。それらの課題に対し、大学という知的資源は、課題の改善／解決を目指す様々な実践を展開しています。この授業では、それらを紹介し、それを学ぶことを通じて、地域の課題へのむきあい方（方法論・過程）について、グループワークを通じて修得することを目指します。</p> <p style="font-size: x-small;">【担当】藤田 和史・西川 一弘・佐藤 祐介 【日時】11月25日、12月2日・9日・16日、1月6日・20日・27日 (土曜：13時～16時20分 11月25日のみ16時40分まで)</p>
--	---

お問合せ先：和歌山大学岸和田サテライト 〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F
TEL & FAX：072-433-0875